

清流のほとり



令和8年3月2日(月)発行 園長 津田 将美 寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

響き合う心

「園長先生、これもらったんだよ！」
年中組の劇の見学をしている年長さんが、振り返りにっこり笑ってそう言いました。

「園長先生も、もらったよ！ほら。」
そう返事をし、ふたりでもらったキャンディを見せ合い、またにこっと笑い合いました。

年長さんの仲間を大切にした素敵な劇は、年少さん、年中さんの心に響き、そしてあこがれの気持ちを大きくしました。この時もらったあめも、年長さんの劇の最中にもらったクッキーのお返しでした。やさしさが響き合い、相手のことを大切にしている心が広がっています。

年中さんの劇では、途中で参観者に応援用のうちわを配るというアイデアが盛り込まれています。うちわを手にした年長さんたちは、立ち上がり手を振り、腰を振り、ジャンプをしながら、全力で年中さんの技やダンスを応援してくれました。あまりの盛り上がり、恥ずかしながら園長も踊り出してしまいました。まるで、トップアーティストのコンサートのように感じました。

一生懸命発表する年中さんの心と、心をこめて応援する年長さんの心が響き合い、ハーモニーとなって広がっているようでした。素敵な時間を共有する心地よさを感じながら、劇はドラマティックに進んでいきました。

年中さんの劇は、正に日常の遊びそのものです。細かい指示や取り決めは事前にせず、子どもたちは演じることを楽しみながら毎回違うセリフや動きが出てきます。

時には劇中で、本当のトラブルになることもあります。それも子どもたち自身で解決していきます。そして担任は、その姿をやさしい表情で見守っています。

劇の練習というよりは、日常の遊びの中の成長過程をそのまま劇の中でなぞっているように感じました。

「見栄えよりも、子どもたちと教師が共に創り上げていく過程を想像しながら観てください。」

毎年保護者のみなさまには、そのようお願いをしています。担任にもそのような話を繰り返し伝えていますが、園長が言うまでもなく、職員は松田幼稚園の伝統として常に子どもたちの成長を第一に考え、子どもたちの思いや願いを大切にしながら保育・教育を行って来ています。

そして、3つの素敵な劇が完成しました。

13日の年中組の発表をもちまして、今年度の保育参観発表会は、すべての学年が終了しました。保護者の皆様のおかげで、多くの励ましのお言葉、本当にありがとうございました。

